



校訓： 進取 敬愛 剛健

児童像 【考える子 思いやる子 たくましい子】

英田っ子

学校だより 5月号

平成29年5月1日

校長 藤井 恒雄

野山は様々な色で覆われはじめ、躍動感を感じさせてくれるようになってきました。保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。去る22日（土曜授業日）には、授業参観・PTA総会、学年学級懇談会に多数ご出席をいただきありがとうございました。子ども達は新しい学年の初めての参観で、緊張しながらもお家の方々に見ていただける嬉しさを感じていたようです。



新年度が始まって1ヶ月が過ぎました。4月当初は不安な様子が見られた1年生も、休み時間には元気に校舎内外で体を動かして仲良く遊んでいます。2年生以上の子ども達も、ワークスペース、体育館や運動場と、それぞれお気に入りの場所で遊んでいます。学校は子ども達の賑やかな声で一杯です。先週行われた「よろしくね集会」では、どの学年も立派な姿を新1年生に披露していました。また1年生も、一人一人が学校で楽しいことを、全員で校歌を大きな声で発表していました。とても凛々しい姿でした。参観に来てくださった保護者の皆様、ありがとうございました。このような子ども達の姿を見るにつけ、今日一日何を発見し、何を身に付けていくのか楽しみを感じつつ、心身ともにたくましい子どもの成長を心から願ってやみません。

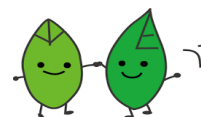
学校では、米作りを地域の方の協力のもと始めることにしました。残念ながら今日予定していた5年生の田植えは延期になりました。明日2日は立春から数えて88日目八十八夜です。“八十八”という字を組み合わせると「米」という字になることから、この日は農業に従事する人にとっては特別重要な日とされてきました。春から夏に移る節目の日で、この日から夏の準備を始め、昔から田植えをこの時期にするそうです。田植えを経験したことのある児童は数名いましたが、ほとんど初体験です。泥の感触を楽しみながら、頑張って取り組んでほしいと思います。これからの夏に向かって大きく成長し、そして秋には楽しみな収穫が待っています。学校での子どもたちの成長も同じではないでしょうか。種まきや準備期間は前学年の3学期に済んでいます。新学年の生活に入り、学習面や生活面で新しい目標を持ちスタートしました。1学期は様々なことに挑戦し、多くのことを学びながら力を蓄えていきます。そして、2学期には成長した心が子どもたちの行動や姿にきつと表してくれるものと期待しています。

「ほんのちよつの一言で ~素敵な一言が言えるようになろう~」 「You can do it!」

今日の集会では「言葉の大切さ」についての話をしました。人に言われた一言でとても暗くいやな気持ちになったり、逆にはげまされたりすることもあります。

ここで高橋系吾さんの詩「その一言」を紹介しました。

「その一言で励まされ	その一言で夢をもち	
その一言で腹がたち	その一言でがっかりし	その一言で泣かされる
ほんのわずかな一言が不思議に大きな力をもつ		ほんのちよつの一言で」



短い詩の中に、いかに一言の言葉が大事なのかよく表わされています。自分に対して汚い言葉を使われたらとても嫌なものです。こんな事を言ったら友達のは心は傷ついてしまうかもしれない。こんな事を言ったら怒らせてしまうかもしれない。そんな言葉は使わないでほしいものです。自分では気付かないかもしれませんが、言われた人は辛い思いをします。逆にたった一言の言葉で自分の将来に夢をもつということがあります。前向きになることもあります。お互いに相手が元気になるように、温かい素敵な言葉をかけていくことが大切ではないでしょうか。最後に「You can do it!」（あなたならできるよ）という言葉を贈りました。言葉は、本当に不思議な力をもっています。これからも言葉を大切に、手と手を取りあって、楽しく清々しい学校にしていきたいと思ひます。